

ICC国際交流委員会 海外就業体験実習コース（長期）

重要事項ガイダンス

＜海外就業体験実習コース（長期）に参加される皆様へのお願い＞
参加申し込みをされる際は、お申し込み前に必ずこの重要事項をお読み頂き、内容を理解し、同意された上でお申し込みください。

ICC 国際交流委員会
(株) ICCコンサルタンツ内
2018年4月改訂

[ICC国際交流委員会（（株）ICCコンサルタンツ内）の役割]

海外就業体験実習コース（長期）（以下「本プログラム」）ではあなたが海外で就業体験を学び自立、成長することを目標にしています。ICC国際交流委員会（以下、「ICC」）ではこの目標を達成できるよう、あなたの意向を最大限に取り入れ、手配・斡旋と相談に応じる役割を担っていますが、実習国滞在中のあなたの行動は全てあなたの責任において対処する必要があります。

[あなたと ICC の望ましい関係]

あなたと ICC の望ましい関係を確認しましょう。あなたが海外での実習生活、住環境に慣れ、生活のペースもつかんで毎日が充実しており、私たち ICC の存在を意識しないような状況、それがあなたと ICC の望ましい関係です。

[相互努力の約束]

ICC は、あくまであなたの研修プログラムの成功を最大の目的と考えております。したがって、場合によってはあなたにとって厳しいアドバイスをすることもあります。あなた自身が ICC のお客様であるという意識を強く持ちすぎると、良い結果が生まれません。ICC の努力に対し、あなたも ICC を信頼し努力することを約束してください。

[実習とは]

本プログラムでは「海外の職場にて、他の従業員と同様または補助的な業務を経験することで海外の職場文化やそこで働く人々のワーキングスタイルを学び、ご自身の職業観の構築に役立てる」ことを趣旨とし、「実習」と呼んでいます。しかし、いわゆる「実習」という言葉から想定されるような授業や先生がいる受け身の講義ではなく、自らが積極的に考え、進んで発言や行動をすることを実習先では歓迎しています。また実習先の他の従業員と同様に、仕事に対する責任や意識を求められることをご理解ください。

[あなたと実習先の関係]

双方の関係では、あなたはお客様ではなく、実習先の企業/団体に対し共感し貢献することが求められています。

以下の事項をご理解ください。

- (1) ICCの実習先企業/団体におけるあなたの受け入れは、あくまでも受け入れ企業の厚意に基づきます。短期の場合、あなたとの間には正式雇用契約等はありません。
- (2) 実習先にはそれぞれ実習生の定員の枠があります。したがってあなたの英語力、経験等によって、必ずしもあなたの希望する実習先での実習ができない場合があります。その場合 ICC は同業種、同職種の企業で研修が受けられるよう斡旋・紹介の最大限の努力をします。
- (3) 実習は、受け入れ企業/団体の就業規則を遵守し、誠実に実習を行って下さい。もしあなたが組織の規律を乱すような行為をした場合、ICC はあなたとの契約を解除します。また実習の当事者は実習先とあなた自身であり、実習中に発生した当事者間の紛争及びこれに基づく全ての損害について、ICC は法的責任を負いません。
- (4) このプログラムでは、意欲の高い実習生を受け入れたいと考える実習先を紹介します。一旦実習がスタートすれば、与えられた状況の中でレベルアップをするよう日々努力していくという姿勢が大切です。実習先での環境づくりはすべてあなた次第です。

[実習内容]

実習内容は事前に概要をお伝えしますが、実際にどのような業務を任されるかは、語学力や業務に関する知識をはじめとする能力や経験、仕事に取り組む姿勢によって決められます。また、実習開始後に実習先の意向により変更となることも十分あり得ます。あなたが実習内容について疑問等がある場合には、直接実習先の上司と話し合うことが解決の近道になることも多いでしょう。あなたの前向きな努力により、得られる成果が大きく違ってきます。もし実習先が何らかの事由により実習中止を求めた場合、本プログラムでの実習は終了となります。

[実習先に関する守秘義務]

実習先で業務上知り得た情報や画像/映像については、実習先以外で口外、使用してはなりません。口外、使用するケースがある場合は、事前に実習先の許可を得る様にしてください。

〔実習先の変更について〕

実習国で実習を開始された後、個人の都合や希望により実習先を変更することはできません。原則、プログラム開始後は事前に選定した実習先にて実習を行っていただきます。

〔無断欠勤について〕

無断で実習を欠勤する事は禁じられています。やむを得ない理由で欠勤する必要がある場合、必ず事前に実習先へ連絡を入れてください。

〔実習の報酬〕

実習先から労働の対価として、金銭が支払われる場合の有給と支払われない場合の無給とがあります。有給の場合の対価については、実習先により異なり、給与の他、報酬、手当、補助金などがあり、必ずしも雇用契約を前提にしておりません。無給の場合は、原則的に実習先からの報酬はありません。

〔実習成果の不担保〕

ICCでは本プログラムであなたの目的が達成できるよう、サポートをしますがあなたが最終的に満足してプログラムを終了できるか、目標を達成できるかは保証の限りではありません。

〔渡航ビザ取得に対するアドバイス〕

実習先の選定が完了し、参加費の支払いが確認できた後、ICCは実習が可能な入国許可の申請手続きについてアドバイス、及び場合によってはビザ代行エージェントをご紹介します。ただし、問題なく認証されるか否かについては、ICCが保証する限りではありません。また、日本国籍以外の国籍の参加者は、実習が可能なビザおよび入国許可取得についてのすべての情報収集および手続きはご自身で行っていただきます。

〔契約の満了〕

プログラムの契約期間は、申込時に定められた期間までとなります。あなたが決められた期間満了以前に実習先を離れた場合、ICCのプログラムを中止したものとみなしその時点で契約も終了となります。（プログラム費等の費用は返金されません）

〔海外傷害保険加入〕

海外に滞在中に起こりうる病気、怪我などの健康のため、あるいは盗難や滞在先での賠償責任などに対応するための「海外傷害保険」に加入する様にしましょう。実習期間中に万が一不測の事態がおき、損失を被ったとしてもICCは一切の責任を負いません。尚、補償内容についてはあなたの責任においてどの保険に加入するかを決定してください。

〔現地滞在中のあなたの法的立場〕

実習国でのあなたの身分は、実習生としての一時滞在許可を得た外国人であり、その範囲でしか行動できません。もしあなたが資格外の行動をされた場合、ICCはあなたとの契約を解除し、あなたに対し強制送還の措置がとられても関知しません。

〔滞在先について〕

滞在先の手配に関するアドバイスは行いますが、滞在先については、本プログラムのサービスには含まれておりません。ただし、実習先によっては、滞在先を用意される場合もあります。

〔滞在先でのあなたの立場〕

滞在先（ホームステイ/ホステル/ホテル/寮など）が定めるルールに従って行動してください。

〔滞在先でのトラブル〕

あなたがもし滞在先に損害を与えることがあっても、ICCはその責めを負いません。

〔ICCの相談サービス〕

あなたが、このプログラムの目的に沿ってまじめに努力されている限り、ICCはあなたの良きアドバイザー

として、相談に応じます。

[契約外のサービス]

一般の相談を超えた ICC のサービスを求める場合は、予めそれにかかる費用を見積り、あなたにお知らせいたします。そのうえで、そのサービスの提供を求める場合は、予めお知らせした費用を申し受けます。

[お金の立替え・借金の保証・貸付け]

事情の内容にかかわらず、ICCや実習先は、あなたのためにお金の立替え、借金の保証、または貸付けを行いません。

[実習に対する態度]

実習中は実習先の規則を遵守し、誠実に実習を行って下さい。もしあなたが実習先の規律を乱す様な行為をした場合、ICCはあなたとの契約を解除します。また実習の当事者は実習先とあなたであり、実習中に発生した当事者間の紛争およびこれに基づく全ての損害についてICCは法的責任を負いません。

[緊急事故や病気になったとき]

実習国滞在中、事故や病気などの「緊急に困った事態」が起こった時は、実習先、加入保険会社、ICCに速やかに連絡をしてください。

[正確な情報の記入]

ICCはあなたに関する情報を実習先に知らせる必要があります。また、ICCはあなたに代わって実習先の選定、マッチングを行います。そのため、あなたはICCに対してあなたの正確な情報を提供する必要があります。特にこれまでの学歴、就労履歴、補導歴の有無、心身症を含む病歴、常用薬がある場合の詳細などは必ず所定の書類に記入ください。万が一、重大な申告漏れがあった場合は、あなたが渡航した後でも、ICCはあなたとの契約を解除し、全てのサポートを中止する場合があります。また、実習先も同様にあなたとの実習中止などの処分を受ける場合があります。

[プログラムの契約解除および変更について]

以下の事例の場合、すでに取り交わしている契約の一部または全部を解除し、内容を変更することがあります。

1. 天変地異、政変、動乱、ストライキ等の不可抗力による事由で、プログラムを実施することが不可能、または著しく困難になった場合
2. あなたが日本国の公序良俗に反する行為をはじめ日本国の法令に違反する行為をなし、ICCにおいて本システムの目的・趣旨に照らしてあなたの本システム参加が不適當であると認めた場合
3. あなたが実習国の公序良俗に反する行為をはじめ実習国の法律その他の法令に違反する行為をなし、ICCにおいて本プログラムの目的・趣旨に照らしてあなたの本プログラム参加が不適當であると認めた場合
4. 実習先から契約破棄などの処分を受けた場合または実習先の買収、統合、経営破綻により経営方針が著しく変更となり、実習生の受け入れ体制が変更となって実習先を変更せざるを得なくなった場合
5. あなたがICCに対し、所定の期日までにプログラム費用全額の支払を完了しなかった場合
6. あなたが正当な理由なく、実習先、事前ガイダンス等のサービスを受領せず、または実習を実施する上で必要なICCの指示に従わないなど、ICCが本契約を履行するのに困難な事情がある場合
7. あなたまたはあなたの保護者がICCに対して申告した事実虚偽（嘘の申告）、または既往症（病歴や現在の心身の病気）の未申告などの重大な遺漏があった場合
8. その他ICCにおいて、本プログラムの目的・趣旨に照らしてあなたのプログラム参加が不適當であると認めた場合
9. その他やむを得ない事情により契約内容変更の必要が生じた場合

以上の理由でプログラム内容が変更あるいは契約解除となった場合でも、既に支払われた費用、所用実費は返金されません。